



インスピレーションになるう

国際ロータリー会長 バリー・ラシン



長井ロータリークラブ



Weekly report

長井ロータリークラブ会長	遠藤 伴明	第2800地区ガバナー	上林 直樹
幹事	那須 修	第6ブロックガバナー補佐	高橋 眞己
パストガバナー	渡部 保太郎		
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル TEL0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 TEL0238-83-2047	URL	: <a href="http://www.nagai-rc.jp">http://www.nagai-rc.jp</a>
E-mail	: <a href="mailto:info@nagai-rc.jp">info@nagai-rc.jp</a>	会報委員	(横澤寿彦 伊藤克也 村田剛 中島浩 土屋茂樹)

## 【10月・特別月間】経済と地域社会の発展

例会報告 No.10 (通算 第2763回) 2018年(平成30年)10月2日(火)号

## 本日の例会(10月9日)

◎休会(その週に祝日・体育の日が含まれるため)  
クラブ所定休会

## 次回の例会(10月16日)

◎ゲスト卓話: 丸山邦昭氏・  
(やまがた長井観光局事務局長)

## 前回例会の報告

国歌  
四つのテスト 斉唱

(今日も頑張る土屋副 SAA)

## 入会式

氏名; 梅津喜博氏  
職業; 土地家屋調査士

○紹介・Rバッジ授与・四つのテスト他贈呈



## ○挨拶

仕事柄、那須先輩のお誘いで入会させて頂きました。大先輩の塚田弘一さんより豊田地区公民館行事で大変お世話になっております。何もわかりませんが、皆様方のご指導よろしくお願ひいたします。



## 会長の時間(報告)

会長 遠藤伴明



こんにちは、今日から梅津さんが入会されました。私もそうでしたが最初はロータリーの事は全く分かりませんでした。よく伊藤さんに「ロータリーとは?」と聞いていましたが、その度に「そのうち分かる」と言われたものです。最近になりやっと少し分かりかけてきたと思っています。ガバナー訪問の時にロータリーの義務と特典について少し話をさせてもらいましたが、その中で「ロータリーには自分が希望しても入会はできない必ず会員の推薦がなければ入れない」と話をしました。ですのでそういう経緯で入会する訳ですので最初は何も分からなくて当たり前ですので梅津さん安心して下さい。最初のころ誰かに「とりあえず酒が飲めれば何とかなる!」と言われましたが、今考えれば親睦の事と思いたいです。さて今日は二つほど報告をさせていただきます。一つは先日退会した大滝さんが理事として担当していた社会奉仕と青少年奉仕の委員長を長井RC細則、第3条、第4節に沿って前田さんに理事として担当してもら

ことになりました。早速先日委員会を開いていただき今年度の活動に関し再確認し進めていくことを話し合いました。他の委員会の方も今年度の活動を達成するために積極的に委員会を開いていただければと思います。もう一つは我々の大先輩の第23代の会長だった梅村長太郎さんの葬儀に参列してきました。幅広く活躍された方ですので多くの参列者がおられました。最後の喪主の挨拶でも退会されて長年経つのですが長井RCに感謝いたしますとの言葉がありましたのでお伝えします。ふと思ったのですが退会されたOBの方の話聞くのもいいのではないかと思います。今日は齋藤会員の卓話です。歴史のあるお店と聞いていますので興味深い話が聞けるかと思います。よろしく願いします。

### 幹事報告

幹事 那須 修



### ○第9回理事会の案内

- ・H30.10.16 (火) AM11:30
- ・11月プログラム、その他

○株式会社梅村呉服店代表取締役社長梅村芳弘様より  
会長梅村長太郎様の葬儀参列へのお礼

○国際ソロプチミスト長井会長 菊地とく様より  
長井チャリティゴルフ大会参加に対するお礼

○タンザニア選手団訪問に係る記念講演会及び歓迎レセプション開催のお知らせ

H30.10.20 (土) 長井市置賜生涯学習プラザ

(1) 瀬古利彦さん×ジュマ・イカンガーさん  
講演会&対談

(2) 2時間08分1秒のレセプション

### お祝い・表彰 (10月)

○本人誕生日

会長 遠藤伴明 (2日)

○奥様誕生日

大山友規憲 E (20日)

横澤寿彦会員 (14日)

○結婚記念日

齋藤慎治会員 (15日)

寒河江良一会員 (15日)



### 委員会報告

◎ロータリー情報委員会 (伊藤克也会員代)

○ガバナー月信 10月号紹介

- ・2800地区米山奨学生の受入れは12名。(全国最低の年間寄付総額)
- ・公式訪問 (長井中央RC掲載)



○ロータリーの友 10月号紹介

・米山月間特集

・地域資源を活かした復元力のあるまちづくり

◎社会奉仕・青少年奉仕委員会

(9/25開催/前田昌信委員長)

○社会奉仕委員会

- ・小さな親切のクリーン作戦中止
- ・長井中央RCとの共同事業植樹

11/21 (水) PM13:00 予定一例会振替検討

- ・さくら大橋の補植と追肥 (市が秋に植え替えを実施)
- ・未来の夢計画 (会長とエレクトの意向)
- ・東日本大震災 (「ロータリーの風」ガバナー事務所に問合せ)

○青少年奉仕委員会

- ・ローターアクトへの協力 (創立60周年向け検討)
- ・ライラへの参加



### ニコニコBOX

報告・尾形和夫会員

・遠藤 伴明会長

梅津喜博さんの入会を歓迎して、齋藤会員の卓話  
楽しみにして

・那須 修幹事

梅津喜博さんの入会を祝して

・伊藤 克也会員

梅津喜博さんの入会を歓迎して、齋藤会員の卓話  
楽しみにしてきました

・塚田 弘一会員

梅津喜博さんの入会、心から歓迎いたします



BOXありがとうございました。

本日本額； 6,000円

累計金額； 99,500円

### 出席報告

10月2日例会

委員長 中島 浩

- ・本日の会員数26名、全出席数20名で出席率は76.92%です。
- ・前回(9月11日分)の出席率は、81.48%に確定します。
- ・前々回(9月4日分)の出席率は、89.66%に確定します。



今日で3回目の卓話です。一回目は家業の話、二回目は思い出したくない歴史の頃、今日で三回目ですが、家業に欠かせない皆様の家にある「仏壇」の話をして頂きます。

家業は、江戸末期から180年間私で六代目です。仏壇屋でなく塗り物屋としての記録があります。また、今から350年前に齋藤ブキチという俳人が書いた「螢行脚」（長井市指定文化財）がありますが、塗物をやりながら俳句をつくっていたかは定かではなく、分かる範囲で私が六代目です。

(以下、資料掲載)

### お仏壇とは

#### ○仏教伝来

百済の聖明王（せいめいおう）→欽明天皇（きんめいてんのう）（552年）

- ・釈迦の金銅仏一尊（こんどうぶついつそん）
- ・幡蓋若干（ばんがいじゃっかん）
- ・経論若干巻（きょうろんじゃっかんかん）

#### ○聖徳太子

「仏教 VS 神道」＝「蘇我氏 VS 物部氏」

蘇我馬子＝聖徳太子の母の兄

※十七条の憲法 第2条→貴族社会に広まる

「二に曰く、篤く三宝を敬え。三宝とは、仏と法と僧なり。すなわち四生の終帰（よりどころ）、万国の極宗（おおむね）なり。いずれの世、いずれの人か、この法を貴ばざらん。人、はなはだ悪しきもの少なし。よく教うるをもて従う。その三宝に帰（よ）りまつらば、何をもつてか枉（まが）れるを直（ただ）す。」

※第一条（和を持って尊しとなす）

#### ○お仏壇の起こり

(日本書紀)

白鳳14年685～690年、天武天皇（てんむてんのう）

「諸国の家毎に仏舎を造り、仏像をご安置して礼拝するように」との詔（みことり）

有力者が自分たちの持仏堂をつくり始めたことがきっかけ

※現代では100年後に出た日本書紀の記述自体の信憑性が問われているが・・・

室町時代 建築様式 書院造り特長「床の間」が普及そこに仏画を掛け、花立て・香炉・燭台

日常的に礼拝 今日のお仏壇の原型

江戸時代中期 現代のようにどの家にもお仏壇が祀（まつ）られる



#### ○お仏壇の種類

現存する最古の仏壇→玉虫厨子（たまむしのずし）

現代の仏壇のルーツと言われている

奈良の法隆寺

#### (金仏壇)

- ・鎌倉時代 仏教が一般庶民に広まる。
- ・仏教が浸透した室町時代中期 浄土真宗の蓮如上人が仏教の信仰を深めるために各地を回り、皆が仏壇を持つよう説く→庶民が仏壇を持つようになったきっかけ。

#### 15 産地は経済産業大臣指定産地

山形仏壇 ・新潟白根仏壇・三条仏壇・長岡仏壇・飯山仏壇・三河仏壇・名古屋仏壇・金沢仏壇・七尾仏壇・彦根仏壇・京仏壇・大阪仏壇・広島仏壇・八女福島仏壇・川辺仏壇

※お釈迦様は、「阿弥陀経」の中で、当時の人々にとって手にすることもできない、金銀宝石を用いて極楽浄土を表現することで、「素晴らしい世界」を表現  
※金 永遠に変わらない＝仏教の教え 普遍である

#### (唐木仏壇)

- ・仏壇が他の宗派に普及 江戸時代
- ・江戸時代初期 幕府→キリスト教の信仰を禁止 すべての庶民→“キリシタンでないことの証明” お寺の檀家になることを命じる。→「寺請制度」(てらうけせいど)
- ・檀家には仏壇を持つことが命じられた この頃より日本全土で仏壇が本格的に普及
- ・真宗以外の宗派→家に作り付けで仏壇をつくるが多かった。
- ・江戸末期、貿易により紫檀、黒檀、鉄刀木など唐を通して入る
- ・明治初期 黒檀や紫檀などを材料につかった、唐木仏壇が登場
- ・真宗以外の宗派では、この唐木仏壇が主流となって

いく

経済産業大臣指定産地

東京唐木仏壇・大阪唐木仏壇

他 会津、静岡、徳島、関東（群馬など）

（モダン仏壇）

- ・現代のライフスタイルにマッチ  
リビングルームやフローリングに調和
- ・伝統的な仏壇とは異なる。カラーが豊富 洋風なデザインも人気

## 【閑話】お仏壇とお仏壇

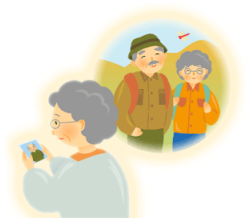
- ・いくつかの辞書を確認すると殆どの場合、「ぶつだん」の漢字表記は「仏壇」
- ・漢字の由来を詳しく調べると「壇」には、「祭祀（さいし）その他の儀式を行うため、一段高くしつらえた場所」という意味がある。
- ・元々は、お釈迦様が説法をされる時に、土を盛って高くしたり、大きな岩の上で教えを説かれた故事に由来。壇場・壇上・祭壇・教壇・演壇・花壇・土壇場などの用例がある。
- ・教壇も演壇も木製ですが、「壇」の由来からすれば土へん。
- ・一方「檀」の方も、仏教用語。

梵語（サンスクリット語）の「ダン」に対する当て字として使用。梵語の「ダン」は「お布施」を意味する言葉。「檀」が使用されるのは檀那（旦那）・檀徒・檀信徒・檀家など、お金やお布施に関係する用語に限られる。お寺様から見た場合の、財物をお布施する信者関係に使われる漢字。

## お仏壇の役割

少し前までは、お仏壇は家の中にあって当然なものでした。お仏壇の前で亡くなられたご家族やご先祖様を供養し、ご本尊様に手を合わせる。そうした行為は日本人にとって当たり前の行為でした。その意味を考えることもありませんでした。現在はなくてもおかしいとは思われなくなりましたが、自分達でお仏壇の本当の必要性や意味を考えていくことができる時代になったのかもしれない。

## 心の悲しみの癒し（グリーフケア）



愛する親族を失うと、誰もが大きな悲しみを感ずります。この悲しみを特に「悲嘆（グリーフ）」と呼びます。この特別な悲しみは、人によっては5年ほども続きます。

最近ではようやくこの悲しみを癒すこと（グリーフケア）の重要性が認識されるようになってきました。仏壇を前にして亡くなった親族と会話することは、自分の心の中で亡くなった親族との関係を考え直し、作り直す最高の機会です。この対話を通して、人は悲しみを乗り越えていくことができます。

## 家族の繋がり

核家族化は進む一方で、現在では「個族（一人所帯）」が増えています。価値観が多様化して、世代間の共通の話題も減っています。家族の個人個人が自由な価値観を持つことは大切なことですが、それが、互いの価値観の違いを認め合って、家族の本当のつながりを見出すことにつながらなければ意味がありません。お仏壇はそんな家族のつながりの象徴です。お仏壇を通して、家族のつながりを確認し、家族への思いやりを強めていくことができます。普段一緒に住んでいない家族や親戚も、仏壇に向かい合うことでそのつながりを感じることができます。

## 子供の情操教育



子供の心の教育のために、買われる方が増えています。家族がお仏壇にお祈りする姿は、家族への信頼や、他人に対する慈愛の心を育て、目に見えないものの価値を考える姿勢を育てます。

また、お仏壇はご先祖様やお祖父ちゃん、お祖母ちゃん

ん、親族や親戚のことを学ぶためのきっかけにもなります。

## 心の解放

仏教に対する関心や評価は、現在、世界中で高まりつつあります。仏教は決して過去の存在ではありません。現在、行き過ぎた個人主義や利己主義、拝金主義、物質的な快楽主義に対する反省が求められています。誰もが他人との競争や比較に明け暮れる生活に疲れ、本当の自分らしさを求めています。

お仏壇に向かい会う時間は、自分自身を見つめ直して自分らしさを取り戻し、宇宙大に心を広げるための貴重なひとときにすることができます。

## 亡くされたご家族の喜び

死後の魂や生まれ変わりがあるのかどうかは分かりません。ですが、亡くなられた方が今もどこかにいらっしやると考えるのが、日本人の自然な思いです。もしそうだとしたら、お仏壇を買い、毎日、ご供養し、会話をかわすことで、亡くなされた方は喜び、感謝してくれるでしょう。そして、見守ってくれるでしょう。そう信じることで、前向きに生きていくことができます。

## 金仏壇



## 唐木仏壇



## モダン仏壇

